

ニュース

9名がQE2に合格しました

2020年11月18、19日の2日間にわたり、MDプログラムの最終審査であるQE 2 (Qualifying Examination 2) が実施され、9名のプログラム生が審査に臨みました。審査会はオンラインで行われ、博士論文概要の発表および質疑応答に対する審査の結果9名全員が合格しました。

発表テーマ

門脇 万里子	炭素鋼の局部電気化学特性の解析と金属組織制御による高耐食化
徳田 慎平	硫化物系介在物の電気化学特性解明と負荷応力下での耐孔食性に優れたステンレス鋼の開発
富田 航	半導体ナノワイヤを用いた機械構造素子作製手法の研究
柿沼 洋	金属間化合物起点の局部腐食発生メカニズムと高耐食化技術の開発について
朱 祚嶠	アルカリ溶出及び体積膨張を抑制するための製鋼スラグ鉱物組織のデザイン
阮 方	シリケートネットワーク構造に基づくケイ酸塩結晶鉱物相の水への溶出機構解明
大平 拓実	Co-Cr-Al-Si系bcc規則合金のマルテンサイト変態とその応用
戸村 勇登	高温電気化学デバイスにおけるコバルト系酸化物の酸素解離触媒活性と表面交換反応の促進
高根 大地	トポロジカル物質の合成と電子状態の解明